

平成24年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	愛知目標の実現に向けたCOP10主要課題検討調査費		担当部局	自然環境局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	生物多様性施策推進室 生物多様性戦略企画室 国立公園課		室長 牛場 雅己 室長 奥田 直久 課長 桂川 裕樹	
会計区分	一般会計		施策名	5-1 基盤的施策の実施及び国際的取組			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	生物多様性基本法(第6条、第19条)		関係する計画、通知等	生物多様性条約・愛知目標(目標1、2、4、11、16、20)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	生物多様性条約COP10で決定した愛知目標を世界的に実現するため、事業者や消費者等の民間部門における生物多様性保全への参画推進、遺伝資源へのアクセスとその利用から得られる利益の配分に関する名古屋議定書の締結に向けた検討、生物多様性の経済価値評価、資源動員戦略の検討、CBD保護地域作業計画(PoWPA)の実施強化等が不可欠となっている。これらに関する課題を整理し、愛知目標の実現に向けて具体的な制度化を図る上での主要課題を検討することを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①経済活動による生物多様性への影響度・依存度を測る指標や、生物多様性の保全と持続的利用に向けた事業者の取組に関する情報収集を行い、経済社会における生物多様性の保全等の促進方策を検討する。②生物多様性を対象とした経済価値等の評価の実施に向けた情報収集、手法の検討を行う。③生物多様性に係る資源動員方策の検討経緯や議論の現状の取りまとめ、課題分析、指標や目標の検討を行う。また、資源動員方策の今後のあり方について議論する国際ワークショップを開催する。④名古屋議定書の締結に向けた検討を行う。⑤生物多様性に係る条約関連専門家会合に専門家を派遣する。⑥CBD/PoWPAの実施強化のため、アジア地域の活動状況を取りまとめるとともに、アジア地域が取り組むべき課題について検討する会合を開催する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	—	—	96	90	72
		補正予算	—	—	0	0	
		繰越し等	—	—	0	0	
		計	—	—	96	90	72
	執行額	—	—	88			
執行率(%)	—	—	92				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	・成果目標として、事業概要④については名古屋議定書の締結及び国内措置の実施を目指す。 ・本事業は政策課題の検討を行うものであり、成果として定量的な指標を示すのは困難である。	成果実績	-	-	-	-	-
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	本事業は、政策課題の検討を行うものであり、定量的な活動指標を示すのは困難である。	活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-	-
単位当たり コスト	-		算出根拠	-			
平成24・25年度 予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	環境保全調査等委託費	90	72				
	計	90	72				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	生物多様性条約COP10で決定した愛知目標を世界的に実現するための主要課題に対する対応は、国が実施すべき優先度の高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	規定手続きに従って支出先が選定されており、競争性の確保、コスト削減が図られた。資金の流れ、費目・使途についても、規定手続きに従って適切に実施された。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	各事業は仕様書作成段階で実効性の高い手段を採用し、それを着実に実施することにより、当初の目標を達成した。事業の成果物はその後の施策に十分に活用されている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	愛知目標達成に向けて世界的に対応が遅れ、危機的な状況下、国としても喫緊の対応が求められる優先度の高い事業である。引き続き、愛知目標達成に向けて、着実かつより多くの成果を出すべく、毎年度必要性に応じた最適な事業選択を行っていく。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	事業内容を重点化し、事業を効率化に実施することにより、予算額を節減すべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	事業を効率的に実施するよう努めるとともに、事業内容を重点化することにより、概算要求額を減額。		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	23'新-009

※平成23年度実績を記入

環境省
88百万円

〔 生物多様性条約COP10で決定した愛知目標の実現に向けて具体的な制度化を図る上で
の主要課題を検討する 〕

【総合評価】

A (株)ノルド
11.7百万円

〔 名古屋議定書の締結に向けた国内措置の検討 〕

【総合評価】

B いであ(株)
7.4百万円

〔 経済社会における生物多様性の保全等の促進
に関する調査 〕

【一般競争】

C (株)ダブリュファイブスタッフサービス
4.3百万円

〔 生物多様性民間参画グローバル・プラットフォーム会合開催支援 〕

【総合評価】

D 三菱UFJリサーチ&コンサル
テイング(株)
12.6百万円

〔 生態系サービスの評価・可視化に関
する検討、資源動員に関する情報収
集等 〕

【少額随意契約】

E いであ(株)
0.9百万円

〔 TEEB普及啓発用パ
ンフレット作成 〕

【少額随意契約】

F (財)自然環境研究センター
0.9百万円

〔 生物多様性指標に関する情報収集 〕

【総合評価】

G (株)テクノ中部
8.4百万円

〔 資源動員方策に関する調査及び国際ワークショップの開催 〕

【一般競争】

H (株)JTBコミュニケーションズ
14.7百万円

〔 アジア国立公園会議準備会合の開催に
係る事務(海外からの出席者の招聘、会
場の借り上げ、会議の運営等)を実施 〕

【一般競争】

I (株)アークエンジン
2.6百万円

〔 アジア自然公園会議の企画の
素案の作成を実施 〕

【一般競争】

J (株)オーエムシー
23.7百万円

〔 生物多様性及び生態系サービスの科学的評価に関する
検討 〕

【少額随意契約】

K (株)電通
0.9百万円

〔 「生物多様性日本基金」ロゴマーク作成 〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)

A.(株)ノルド			G.(株)テクノ中部		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	諸外国及び国内の情報収集、懇談会の開催等の業務の実施にあたっての人件費	5.0	人件費	生物多様性における資源動員戦略に関する調査業務	3.5
雑役務費	臨席速記、翻訳、通訳等	3.2	外注費	三菱総合研究所、NPOアースデーエブリデー	2.2
旅費	現地調査、専門家派遣、懇談会の委員旅費等	1.6	諸謝金	ヒアリング、翻訳等	1.1
諸謝金	懇談会委員への謝金、ヒアリング謝金、専門家派遣謝金等	0.6	旅費	外国旅費、国内旅費	1.0
賃金	研究補助	0.3	一般管理費		0.6
外注費	ヒアリング補助	0.2			
その他	保険料、会議費、通信運搬費、消耗品費、印刷製本費等	0.8			
計		11.7	計		8.4
B.いであ(株)			H.(株)JTBコミュニケーションズ		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	経済社会における生物多様性の保全等の促進に関する調査関連	3.9	人件費	71人日	2.7
外部委託	(財)地球環境戦略研究機関に資料収集を委託	2.1	旅費	海外からの参加者の招聘旅費等	2.4
借料	検討会会場費	0.3	借料及び損料	会議会場の借り上げ等	3.3
謝金	検討会委員、ヒアリング先有識者	0.4	雑役務費	機材搬入等	3.3
その他	印刷製本費、消耗品費、会議費他	0.7	その他	諸謝金、営業管理費、消費税等	3.0
計		7.4	計		14.7
C.(株)ダブリュファイブスタッフサービス			I.(株)アークエンジン		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
会議費	飲食物	2.4	人件費	74人日	2.0
雑役務費	通訳、撮影、パンフレット・報告書作成、印刷	1.9	その他	旅費、謝金、会場費等、一般管理費、消費税等	0.6
計		4.3	計		2.6
D.三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)			J.(株)オーエムシー		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	研究員	10.6	旅費	諸外国及び国内からのワークショップ等参加者の旅費(航空券、宿泊費、日当等)	7.8
旅費	検討会委員、委託先職員	0.5	再委託費	国連大学(ワークショップの討議文書作成及び成果文書の取りまとめ並びに成果の広報)	3.0
謝金	検討会委員、ヒアリング先有識者	0.2	人件費	ワークショップの開催等の業務実施にあたっての人件費	2.9
借料	検討会会場費	0.2	会議費	レセプション費用等	2.0
その他	検討会飲料費、英文校閲費、図書、一般管理費、消費税等	1.1	謝金	諸外国及び国内からのワークショップ等参加者の謝金	1.6
			印刷費	ワークショップ等資料及び報告書印刷	1.4
			雑役務費	通訳代	0.6
			その他	保険代、備品代	4.4
計		12.6	計		23.7

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ノルド	名古屋議定書の締結に向けた諸外国及び国内の情報収集・整理、国内措置の検討のための懇談会の開催	11.7	1	94

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	いであ(株)	経済社会における生物多様性の保全等の促進に関する調査	7.4	10	47

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ダブリュファイブスタッフサービス	生物多様性民間参画グローバル・プラットフォーム会合開催支援	4.3	5	76

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)	生態系サービスの評価・可視化に関する検討、資源動員方策についての情報収集等	12.6	2	37

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	いであ(株)	TEEB普及啓発用パンフレット作成	0.9	少額随契	—

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)自然環境研究センター	生物多様性指標に関する情報収集	0.9	少額随契	—

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)テクノ中部	資源動員方策に関する調査及び国際ワークショップの開催	8.4	1	65

H.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)JTBコミュニケーションズ	アジア国立公園会議準備会合の開催に係る事務	14.7	4	86

I.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)アークエンジン	アジア自然公園会議の企画の素案の作成	2.6	3	82

J.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)オーエムシー	生物多様性及び生態系サービスの科学的評価に関する検討	23.7	1	99

K.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)電通	「生物多様性日本基金」ロゴマーク作成委託業務	0.9	少額随契	—